

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	大分工業高等専門学校
	大学等名1(代表大学等)※カナ	オオイタコウギョウコウトウセンモンガッコウ
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	G144110111513
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	大分県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立高専
	科目名	校外実習、実務実習
	学部・研究科等名	機械工学科、電気電子工学科、情報工学科、都市・環境工学科、機械・環境システム工学専攻、電気電子情報工学専攻
	担当教職員名・役職	
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	158
	受入企業等数	118
	受入企業等名	三菱重工業機械システム(株)、(株)尼崎工作所、JX金属製錬(株) 他115社
	産学協議会の整理上の類型	3.タイプ3(汎用的能力活用型インターンシップ)
	キャリア形成支援活動の分類	5.他県をまたぐ広域でのキャリア形成支援活動 6.低学年(大学1年次~2年次程度)を対象としたキャリア形成支援活動 7.高学年(大学3年次~4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動
	上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	本校のインターンシップは就業体験を通じて、将来の進路についての認識を深め、社会人、技術者としての心構えを学習することを目的として実施している
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	高等専門学校 4年 高等専門学校 専攻科1年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	高等専門学校 1単位 高等専門学校 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	夏期休業期間中に本科4年生「校外実習」、専攻科1年生「実務実習」としてカリキュラムの中に組み入れ、単位化しており、本科4年生は1単位、専攻科1年生は2単位の単位認定をしている。

項目	確認事項	届出内容
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ等の就業体験実施期間中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	クラス担任によるガイダンスを4月に実施し、クラス担任を通して実習先に申し込みを行っている
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	実習報告書を作成、提出させ、クラスまたは学科ごとに実習報告会を実施し、実習の内容や成果について発表させている
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	クラス担任や学科長が企業を訪問した際には、レポートの提出を求め、学内において情報共有をしている
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	実習後には実習報告書を作成、提出させ、クラスまたは学科ごとに実習報告会を実施し、実習の内容や成果について発表している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	5日間(計30時間)以上
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	夏季休業中に本科4年生は5日(計30時間)以上、専攻科1年生は2週間(実働10日)以上の実施としている。事前、事後学習など実習中のスケジュールについては実習先企業に一任をしている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	実習受入先企業等のご担当者様から実習中の態度等、評価を文書にて記入していただき、クラス担任に提出することとしている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="http://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSyllabus?school_id=48&amp;department_id=12&amp;subject_code=R05M427&amp;year=2020&amp;lang=ja">syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSyllabus?school_id=48&amp;department_id=12&amp;subject_code=R05M427&amp;year=2020&amp;lang=ja</a>
問い合わせ先	大学等名	大分工業高等専門学校
	担当部署名	学生課教育支援係
	担当者役職名	係員
	担当者氏名	梶原 美和
	電話番号	097-552-6359
	メールアドレス	<a href="mailto:kshien@oita-ct.ac.jp">kshien@oita-ct.ac.jp</a>